# 令和６年度　第２回板橋グリーンカレッジ運営協議会次第

日時：令和６年 12 月 12 日　14 時から
場所：グリーンカレッジホール 教室１

１　開会

２　報告事項

（１）令和６年度板橋グリーンカレッジ公開講座について（資料１）

（２）令和６年度前期板橋グリーンカレッジアンケート集計結果（資料２）

（３）板橋グリーンカレッジ CI・DX 推進について（資料３）

（４）令和７年度板橋グリーンカレッジ受講生募集について（資料４）

（５）令和７年度板橋グリーンカレッジ講義概要（前期）（資料５）

３　協議事項

（１）新たな板橋グリーンカレッジ大学院のカリキュラム案について（資料６）

４　今後の予定
（１）卒業式　令和７年３月 21 日（金）14 時 30 分から 15 時 30 分
（２）入学式　令和７年４月 11 日（金）14 時から 14 時 30 分

５　閉会

---

配布資料

資料１　令和６年度板橋グリーンカレッジ公開講座について
資料２　令和６年度前期板橋グリーンカレッジアンケート集計結果
資料３　板橋グリーンカレッジ CI・DX 推進について
資料４　令和７年度板橋グリーンカレッジ受講生募集について
資料５　令和７年度板橋グリーンカレッジ講義概要（前期）
資料６　新たな板橋グリーンカレッジ大学院のカリキュラム案について

資料１

# 令和６年度板橋グリーンカレッジ公開講座について

板橋グリーンカレッジは、区民の多種多様な学びの欲求に応えるために、令和６年度から年齢制限を撤廃し、多世代の方を対象として開校している。また、多世代化した板橋グリーンカレッジの周知を図ることを目的に「板橋グリーンカレッジ公開講座」を実施している。今年度の実施状況については、下記のとおりである。

記

## １　実施概要

テ ー マ：ニュース番組の舞台裏
講　　師：テレビ朝日広報局お客様フロント部、防災士　久慈　省平　氏
周知方法：広報いたばし、区ホームページ、生涯学習課インスタグラム、
区公式LINE、区施設及び図書館へのチラシ配架
対　　象：板橋区在住・在勤・在学の方
①募集定員　100名
②申込者数　86名（申込率：86%）
③参加人数　62名（出席率：72%）
申込者数内訳：30代　2人・40代　2人・50代 11人〈60歳未満15人〉
60代 21人・70代 39人・80代 11人〈60歳以上71人〉

## ２　アンケート結果

参加者数：62名
回答者数：57名（回収率：92%）
集計結果：別紙のとおり

# 令和６年度板橋グリーンカレッジ公開講座　アンケート集計結果

▼受講者数　　62名

▼回答者数　　57名　(回収率　92%)

**1.本日の講義について、受講した感想をお聞かせください。**

| 選択肢 | ア.とても満足 | イ.おおむね満足 | ウ.どちらともいえない | エ.やや不満 |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 41 | 16 | 0 | 0 |
| 構成比（%） | 72% | 28% | 0% | 0% |

| 選択肢 | オ.不満 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 0 | 57 |
| 構成比（%） | 0% | 100% |

＜その理由＞

・人を引き付けるような話し方で、最後まで楽しんで画面見て聞けてよかった。
・色々な情報を聞けました。
・わかりやすかった。
・ユーモアたっぷりで楽しかった。
・テンポが心地よい。舞台裏が垣間見られよかった。
・何気に見ているニュース番組の裏に多くの人、時間や努力が費やされていることがわかった。
・テレビ中継のように秒刻みで面白かった。
・つい笑いが出て楽しい。
・言葉がはっきりしていてよい。
・パートナーが記者だったので生活が不規則だった。大変だったと分かった。
・森永製菓の広報部に在籍していたので、テレ朝さんには何度も伺い楽しく仕事したのを思い出しました。
・おもしろかったので２時間がよかったです。
・災害の際はテレビの情報提供が頼りですので現場の方には頑張ってほしいです。
・ニュースの見方が変わりそうです。
・グリーンカレッジでも講義してほしい。

**2.今回の講座はどのように知りましたか？**

| 選択肢 | ア.広報いたばし | イ.区ホームページ | ウ.生涯学習課 | エ.区内施設に設置されたポスター・チラシ |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 34 | 0 | 2 | 11 |
| 構成比（%） | 60% | 0% | 4% | 19% |

| 選択肢 | オ.区公式LINE | カ.その他 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 回答数 | 3 | 7 | 57 |
| 構成比（%） | 5% | 12% | 100% |

＜その他＞　グリーンカレッジの配布物

**3-1.板橋グリーンカレッジを受講されたことはありますか？**

| 選択肢 | ア.現在受講中である | イ.過去に受講したことがある | ウ.受講したことがない | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 26 | 20 | 11 | 57 |
| 構成比（%） | 46% | 35% | 19% | 100% |

**3-2.　3-1で「ウ　受講したことがない」と回答した方のみご回答ください。**
**板橋グリーンカレッジに通ってみたい、または興味はございますか？**

| 選択肢 | ア.通ってみたい | イ.興味がある | ウ.通わない、興味がない | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 2 | 9 | 1 | 12 |
| 構成比（%） | 17% | 75% | 8% | 100% |

**4.年齢はおいくつですか？**

| 選択肢 | ア.～19歳 | イ.20代 | ウ.30代 | エ.40代 |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 構成比（%） | 0% | 0% | 2% | 4% |

| 選択肢 | オ.50代 | カ.60代 | キ.70代 | ク.80代 |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 6 | 12 | 28 | 8 |
| 構成比（%） | 11% | 21% | 49% | 14% |

| 選択肢 | 合計 |
|---|---|
| 回答数 | 57 |
| 構成比（%） | 100% |

**5.今後、受講してみたい内容がありましたらお聞かせください。**

・経済全般、政治の裏話
・今回のさらに詳しい内容
・インターネットの正しい使用法
・話題になっている題材
・板橋区の中世の歴史
・美術鑑賞講座
・漢方講座
・日本の世界遺産について広報、保存をどうしていくか
・外交・安全保障について

資料２

# 令和６年度前期
# 板橋グリーンカレッジ
# アンケート集計結果

# 令和６年度板橋グリーンカレッジ大学校１年生(前期）アンケート集計結果

▼受講者数　　200名
▼回答者数　　161名　　（回収率　80.5% ）
※構成比は各合計値を100%とした値である。

**1　受講した目的について、当てはまるものに〇をつけてください。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①学習意欲を満たすため | ②仲間づくり・交流のため | ③日々を有意義に過ごすため | ④その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 121 | 29 | 117 | 4 | 3 |
| 構成比（%） | 44.2% | 10.6% | 42.7% | 1.5% | 1.1% |

| 選択肢 | 合計 |
|---|---|
| 回答数 | 274 |
| 構成比（%） | 100.0% |

＜その他＞
・知識を得るため。 板橋区を知るため。　・何を学ぶかを選ぶため。　・子供時代の友人に会うため。

**2　受講して得られたことについて、当てはまるものに〇をつけてください。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①知識を得ることができた | ②友人ができた・交友関係が広がった | ③生活のリズムや充実感がうまれた | ④地域活動に関心を寄せるようになった | ⑤その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 149 | 4 | 51 | 20 | 9 |
| 構成比（%） | 63.9% | 1.7% | 21.9% | 8.6% | 3.9% |

| 選択肢 | 合計 |
|---|---|
| 回答数 | 233 |
| 構成比（%） | 100.0% |

＜その他＞
・生活にハリが生まれた。　・頑張る人から元気もらえた。　・楽しみが増えた。　・内容にがっかりした。
・聴講だけでディスカッションなどなかったので交流が広がらなかった。
・講義回数が少ないのでちょっとした生活リズムが生まれた。・なんとなく理解していたのが整理できた。
・関心なかった分野も興味がわいた。　・紹介された本や映画で派生して興味がわいた。

**3　板橋グリーンカレッジをどのようにしてお知りになりましたか。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①広報いたばし | ②区HP | ③チラシ | ④伝聞 | ⑤SNS |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 115 | 36 | 17 | 16 | 1 |
| 構成比（%） | 59.0% | 18.5% | 8.7% | 8.2% | 0.5% |

| 選択肢 | ⑥その他 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 10 | 195 |
| 構成比（%） | 5.1% | 100.0% |

＜その他＞　家族、通っている友人から、GCHの告知

**4　年齢はおいくつですか**

| 選択肢 | ①～19歳 | ②20代 | ③30代 | ④40代 | ⑤50代 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 1 | 2 | 3 | 5 | 19 |
| 構成比（%） | 0.6% | 1.2% | 1.9% | 3.1% | 11.8% |

| 選択肢 | ⑥60代 | ⑦70代 | ⑧80歳以上 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 73 | 52 | 6 | 161 |
| 構成比（%） | 45.3% | 32.3% | 3.7% | 100.0% |

**5　ご職業について、当てはまるものに○をつけてください。**

| 選択肢 | ①会社員 | ②公務員 | ③会社経営者 | ④パート<br>アルバイト | ⑤専業主婦（夫） |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 9 | 3 | 3 | 23 | 39 |
| 構成比（%） | 5.6% | 1.9% | 1.9% | 14.3% | 24.2% |

| 選択肢 | ⑥学生<br>（小中高） | ⑦学生<br>（専門学校） | ⑧学生<br>（大学等） | ⑨自営業 | ⑩団体職員<br>（NPO、組合等） |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 0 | 1 | 0 | 10 | 2 |
| 構成比（%） | 0.0% | 0.6% | 0.0% | 6.2% | 1.2% |

| 選択肢 | ⑪無職 | ⑫その他 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 67 | 2 | 2 | 161 |
| 構成比（%） | 41.6% | 1.2% | 1.2% | 100.0% |

**6．各講義の満足度はいかがでしたか。当てはまるものに○をつけてください。**

**① 青山学院大学 文学部 フランス文学科 准教授　福田　美雪　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 40 | 57 | 25 | 4 | 1 |
| 構成比（%） | 24.8% | 35.4% | 15.5% | 2.5% | 0.6% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 34 | 161 |
| 構成比（%） | 21.1% | 100% |

＜理由＞

・美術鑑賞の着眼点が分かった。　・文学との関係性が興味深い。　・絵が好きになった。　・文章が堅い。

・年齢層向けに話す速度を落とすべき。　・マイクの使い方が悪く聞き取りにくかった。

・各絵画の背景(時代や考え)を知れて良かった。一つの絵画や美術館など深く講義してほしい。

・美術品を見る際に構築された年代を考えようと思った。　・絵を描きたくなり絵画教室に通いだした。

**② 立教大学 日本学研究所 研究員　馬場　淳子　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 37 | 63 | 29 | 9 | 2 |
| 構成比（%） | 23.0% | 39.1% | 18.0% | 5.6% | 1.2% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 21 | 161 |
| 構成比（%） | 13.0% | 100% |

＜理由＞

・作品の概要が理解できた。・うまくまとめられていた。・熱意が伝わってきた。・専門的過ぎ。
・平安の姿、振る舞いが分かった。・時代背景や世界観を教えてもらった。・立て板に水のような講義。
・哲学史の説明もあってわかりやすかった。・源氏物語原文に挑戦したくなりました。
・人物相関図をもとにわかりやすく興味深い講義だった。

**③ 大正大学 文学部 歴史学科 准教授　木下　昌規　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 23 | 62 | 25 | 7 | 3 |
| 構成比（%） | 14.3% | 38.5% | 15.5% | 4.3% | 1.9% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 41 | 161 |
| 構成比（%） | 25.5% | 100% |

＜理由＞

・歴史の奥深さを感じた。時代背景が分かりやすかった。・話し方が不明瞭、内容も中途半端で終了。
・資料を読む事に終始した。　・わかりやすい授業。・学校ではここまで教えてくれない内容。
・知識がなかったが興味が深まった。・なじみの薄い時代だったので興味深かった。

**④ 武蔵野大学 名誉教授　久富　健　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 46 | 51 | 21 | 6 | 1 |
| 構成比（%） | 28.6% | 31.7% | 13.0% | 3.7% | 0.6% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 36 | 161 |
| 構成比（%） | 22.4% | 100% |

＜理由＞

・わかりやすかった。　・小さい文字と英字が多く資料が見にくかった。　・哲学を面白いと思った。
・興味があったが来年も受けたい。　・先生の哲学愛が感じられた。　・時間がもう少し欲しかった。
・先生の人生観が伝わってきた。　・難しい哲学を楽しく面白く紹介してくださった。

**⑤ 植村冒険館 理事　節田　重節　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 22 | 30 | 12 | 1 | 3 |
| 構成比（%） | 13.7% | 18.6% | 7.5% | 0.6% | 1.9% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 93 | 161 |
| 構成比（%） | 57.8% | 100% |

＜理由＞

・人となりを感じた。　・もう少し山の資料が欲しかった。　・植村氏の生きざまが見れた。
・植村氏の行動や考え方についての分析が欲しかった。・高度成長期とシンクロしていた。
・冒険館に行ったことがあるが貴重な展示なのにあまり一般に知られていなくて残念。

**⑥ キユーピー株式会社　前田　淳　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 64 | 54 | 21 | 0 | 1 |
| 構成比（%） | 39.8% | 33.5% | 13.0% | 0.0% | 0.6% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 21 | 161 |
| 構成比（%） | 13.0% | 100% |

＜理由＞

・身近な問題で興味深い。・ゆっくり丁寧な説明だった。・より有益な知識を得られた。
・細かめなレスポンスが聞いていて楽しかった。・今後の生活のためにも受講して良かった。
・図や文章、DVDでわかりやすかった。（他１件）・普段心掛けたい、チェックシート活用している。

**⑦ 産業能率大学総合研究所 兼任講師・社会保険労務士　奥村　禮司　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 40 | 68 | 20 | 6 | 0 |
| 構成比（%） | 24.8% | 42.2% | 12.4% | 3.7% | 0.0% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 27 | 161 |
| 構成比（%） | 16.8% | 100% |

＜理由＞

・体系が整理できた。実生活に必要な知識を得れた。（他２件）
・知らないことが多かった。　・不動産取引の話より身近な例を聞きたかった。
・板橋区の実態をもっと知りたい。　・介護保険の方を重点的にお願いしたかった。
・臨床試験に対しての見解は少し不適切な気もしました。
・他国の保険制度と対比してもらい、現行制度が充実しているのか知りたかった。

**⑧ 東京都行政書士 板橋支部 副支部長/行政書士　齊藤　志郎　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 28 | 39 | 23 | 5 | 2 |
| 構成比（%） | 17.4% | 24.2% | 14.3% | 3.1% | 1.2% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 32 | 161 |
| 構成比（%） | 19.9% | 100% |

＜理由＞

・テーマが広すぎた。（他１件）　・早くて分かりづらかった。（他１件）

・退職後のところを重点的に聞きたかった。後見人制度、遺言、相続がさらっと終わってしまった。

・改正点がわかりためになった。　・法律は意外と身近なものだと感じた。

**⑨ 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 教授　川本　竜史　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 34 | 61 | 18 | 0 | 1 |
| 構成比（%） | 21.1% | 37.9% | 11.2% | 0.0% | 0.6% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 47 | 161 |
| 構成比（%） | 29.2% | 100% |

＜理由＞

・運動経験者として興味深かった。新しい知識を得た。・問いかけ形式がよかった。

・オリンピック選手のすごさを再認識。　・仕事や実生活に使える。映像が多くてよかった。

・これから始める一般人や高齢者向けの助言が欲しい。　・オリンピック後でタイムリー。

・パリ五輪で数々のメダルを獲得できた背景に科学の力があったことを認識できた。

**⑩ 東洋大学 名誉教授　大熊　廣一　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 28 | 39 | 23 | 5 | 2 |
| 構成比（%） | 17.4% | 24.2% | 14.3% | 3.1% | 1.2% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 64 | 161 |
| 構成比（%） | 39.8% | 100% |

＜理由＞

・説明と配布資料が別物であった。スライドのレジュメが欲しかった。（他２件）

・食の話だが、政治の話でもあった。　・食糧危機の講義で問題意識を持った。

・自給率や培養肉など興味深かった。　・最新の話が聞けて考える視点となった。

・持続可能な食の世界について考えさせられた。

**⑪ NPO法人 プログラミング教育研究所 理事長　伊藤　功一　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 15 | 39 | 33 | 21 | 3 |
| 構成比（%） | 9.3% | 24.2% | 20.5% | 13.0% | 1.9% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 50 | 161 |
| 構成比（%） | 31.1% | 100% |

＜理由＞

・知識に差があると思うのでクラス分けしたほうがいいのでは。

・興味深かった。・生成AIが面白い。・ゲームをやってみてもいい。

・専門的過ぎた。難しかった。（他２件）・結果と異なる部分を実際に説明してほしい。

・スマホやPCの利用法などがなかった。　・何に使える、知っていた方がよい理由が見当たらなかった。

**７．今後、どの分野の講義を受講したいですか。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①芸術 | ②文学 | ③歴史 | ④哲学 | ⑤文化史 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 68 | 53 | 72 | 36 | 44 |
| 構成比（%） | 6.5% | 5% | 7% | 3.4% | 4.2% |

| 選択肢 | ⑥健康 | ⑦社会学 | ⑧法律 | ⑨農業 | ⑩スポーツ科学 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 77 | 38 | 53 | 31 | 24 |
| 構成比（%） | 7.3% | 3.6% | 5.1% | 3.0% | 2.3% |

| 選択肢 | ⑪プログラミング | ⑫外国語 | ⑬絵本 | ⑭観光 | ⑮板橋学 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 47 | 40 | 28 | 50 | 45 |
| 構成比（%） | 4.5% | 3.8% | 2.7% | 4.8% | 4.3% |

| 選択肢 | ⑯福祉 | ⑰心理学 | ⑱建築学 | ⑲地理 | ⑳経済 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 30 | 74 | 35 | 35 | 43 |
| 構成比（%） | 2.9% | 7.1% | 3.3% | 3.3% | 4.1% |

| 選択肢 | ㉑天文学 | ㉒メディア論 | ㉓統計学 | ㉔その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 36 | 25 | 37 | 16 | 12 |
| 構成比（%） | 3.4% | 2.4% | 3.5% | 1.5% | 1.1% |

| 選択肢 | 合計 |
|---|---|
| 回答数 | 1,049 |
| 構成比（%） | 100.0% |

＜その他＞　音楽、相続、文学、地政学、国際情勢、源氏物語

## ８．板橋グリーンカレッジに関するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

**●教室内の設備、音響について**

・座席の前後をもう少し広めにしてほしい。

・冷房が強い。

・教室正面の調光がいつもうまくいかない。

・講師によってマイクの音量が大きくてきつかった。

**●講義日程や時間、申請方法について**

・日程変更を可能にしてほしい。（他 13 件）

・午前、午後クラスに分けて欲しい。時間と曜日を固定してほしい（他３件）

・出来れば土日祝日は講座をやめてほしい。同日の午前午後の連続もやめてほしい。

・8 月は休みにしてほしい。夏はやめて欲しい。（他５件）

・質問時間が欲しい。（他２件）

・休憩を入れてほしい。（他１件）

・一つの講座を複数回ほしい。（他１件）

・１日で数コマ開催の集中講義だとありがたい。

・受講日程の決定が遅い。（他１件）

・Web 申請もできるようにしてほしい。

・個人別受講日程を郵送またはネット確認できるようにしてほしい。

・11 から９つの選択では、選択の余地なし。

**●講義内容、講師について**

・生活に関係する内容がいい。身近な内容が聞きたい。（他２件）

・全体的に話の構成を説明してから進めたほうが良い。（他１件）

・年齢制限がなくなったので大学レベルの内容を学びたい。

・ポイントを絞った講座をお願いしたい。

・美術に関する講義を増やしてほしい。

・第１回から第４回までの同じ先生で来年もお願いしたい。

・テーマによって高度すぎる内容と分かり切った、どこかで聞いた内容の時の差が大きい。

・面白い捉え方や知るためのきっかけ、どうしたらもう少し深く知ることができるかが聞きたい。

・自分の好きな学科が理解できた。哲学は難しい。
・講座の紹介文だけでは内容を推測できず、講座の落差が激しい。
・どの講座の講師も、これを伝えたいといった推しがなく思いが伝わってこなかった。
・説明が早く置いてけぼりの感じがした。
・区内の企業などへの校外学習などあると生徒間交流が生まれる。
・一方的な講義形式ではなく、問いかけ、クイズ的なものが楽しかった。

**●その他**

・オンライン講義が欲しい。（他２件）
・アンケート用紙は最初の講義の時に渡してほしい。（他２件）
・受講生同士の懇親会がほしい。（他２件）
・毎回授業を楽しみにしています。
・入学式の際に登壇者が男性のみの黒一色なのが残念でならない。
・多くの学びが得られて大変充実した。今後もいろんな講義を希望します。
・資料の電子化をお願いしたい。
・新しい知識や情報を得て、積極的に知識や情報を得たい。
・事前に講義資料を配ってほしい。

# 令和６年度板橋グリーンカレッジ専門課程・文化文学コース(前期）アンケート集計結果

▼受講者数　113名
▼回答者数　86名　（回収率　76.1% ）
※構成比は各合計値を100%とした値である。

**1　受講して得られたことについて、当てはまるものに〇をつけてください。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①知識を得ることができた | ②友人ができた・交友関係が広がった | ③生活のリズムや充実感がうまれた | ④地域活動に関心を寄せるようになった | ⑤その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 65 | 5 | 27 | 2 | 0 |
| 構成比（%） | 55.6% | 4.3% | 23.1% | 1.7% | 0.0% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 18 | 117 |
| 構成比（%） | 15.4% | 100.0% |

**2．各講義の満足度はいかがでしたか。当てはまるものに○をつけてください。**

**① 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館　入口　敦志　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 28 | 45 | 10 | 0 | 1 |
| 構成比（%） | 32.6% | 52.3% | 11.6% | 0.0% | 1.2% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 2 | 86 |
| 構成比（%） | 2.3% | 100.0% |

<理由>
・作品自体は超有名だがどのような形で残されていたのか初めて知ってびっくり。
・実物の巻物など見せていただき興味深かった。（他１件）
・「本のかたち」というものの見方、興味深かった。切り口が初めてだった。（他２件）
・言葉がはっきりしていてお話が分かりやすかった。
・今まで何となく見ていた展示物に目を向けることになると思う。印刷の歴史も面白かった。
・形より中身に関心がある。

**② 立教大学 日本学研究所 研究員　馬場　淳子　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 18 | 39 | 20 | 4 | 2 |
| 構成比（%） | 20.9% | 45.3% | 23.3% | 4.7% | 2.3% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 3 | 86 |
| 構成比（%） | 3.5% | 100.0% |

<理由>
・2回だけでなくもっと聞きたかったです。（他２件）
・大河ドラマについて話していただきおもしろかったです。
・全体を読むのがむずかしい作品をわかりやすく教授いただきよかった。
・平安時代の身分制度をもとにした社会や男女の心の通じ合いなど知る、もっと興味がわいた。
・早口で分かりづらかった。

**③ 東海大学 文化社会学部 教授　堀　啓子　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 28 | 40 | 10 | 5 | 0 |
| 構成比（%） | 32.6% | 46.5% | 11.6% | 5.8% | 0.0% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 3 | 86 |
| 構成比（%） | 3.5% | 100.0% |

<理由>

・たくさん資料をくださってありがたいです。
・3回目の太宰治の講義は面白かった。
・作家3人の周辺事情、ほかの作品当時の文豪での激しいやり取りに臨場感があった。
・少し難しかったが、知的好き心を刺激された。
・作者の生い立ちや幼少期の経験によって人格が形成されてきて益々作品の内容が理解できると思い興味深い。
・作家の背景をみることによって作品が深くなる、資料が素晴らしい。
・新ハムレットを読み解いてもらって視野が広がった。
・原稿用紙もありがとうございました。
・先生の講義を心待ちにしていました。お話がゆっくり分かりやすく、高齢者にはとてもうれしいです。
・当時の資料を添付していただき一味違った読み方ができました。

**3．今後、どの分野の講義を受講したいですか。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①芸術 | ②文学 | ③歴史 | ④哲学 | ⑤文化史 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 40 | 35 | 57 | 18 | 26 |
| 構成比（%） | 12.0% | 11% | 17% | 5.4% | 7.8% |

| 選択肢 | ⑥健康 | ⑦社会学 | ⑧法律 | ⑨農業 | ⑩スポーツ科学 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 11 | 12 | 6 | 6 | 3 |
| 構成比（%） | 3.3% | 3.6% | 1.8% | 1.8% | 0.9% |

| 選択肢 | ⑪プログラミング | ⑫外国語 | ⑬絵本 | ⑭観光 | ⑮板橋学 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 4 | 7 | 8 | 14 | 17 |
| 構成比（%） | 1.2% | 2.1% | 2.4% | 4.2% | 5.1% |

| 選択肢 | ⑯福祉 | ⑰心理学 | ⑱建築学 | ⑲地理 | ⑳経済 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 1 | 14 | 3 | 16 | 11 |
| 構成比（%） | 0.3% | 4.2% | 0.9% | 4.8% | 3.3% |

| 選択肢 | ㉑天文学 | ㉒メディア論 | ㉓統計学 | ㉔その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 7 | 7 | 2 | 5 | 3 |
| 構成比（%） | 2.1% | 2.1% | 0.6% | 1.5% | 0.9% |

| 選択肢 | 合計 |
|---|---|
| 回答数 | 333 |
| 構成比（%） | 100.0% |

## ４．板橋グリーンカレッジに関するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

**●講義日程について**

・曜日と時間を固定にしてほしい。（他２件）

・酷暑の中この時間帯は厳しい。

**●講義内容、講師について**

・芸術・美術館の楽しみ方、歴史的建造物の楽しみ方を入れてほしい。

・内容の一部変更を。広くより深く。

・仏像に関する講義がおもしろかったので再度お願いします。

・新しい分野を作って視野を広げてほしい。

**●その他**

・暑い時期は空席の場所に移動しても良いのでは。

・予算が大変かと思いますが少々の値上がりは受け入れるつもりです。

・講義についての意見交換とかあると良い。

・また参加したいです。

・いろいろなテーマで勉強させていただき充実していました。

・知識の幅、深みが出るような講義ありがとうございました。

# 令和６年度板橋グリーンカレッジ専門課程・社会生活コース(前期）アンケート集計結果

▼受講者数　77名
▼回答者数　65名　（回収率　84.4% ）
※構成比は、各合計値を100%とした値である。

**1　受講して得られたことについて、当てはまるものに〇をつけてください。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①知識を得ることができた | ②友人ができた・交友関係が広がった | ③生活のリズムや充実感がうまれた | ④地域活動に関心を寄せるようになった | ⑤その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 42 | 8 | 12 | 6 | 3 |
| 構成比（%） | 47.7% | 9.1% | 13.6% | 6.8% | 3.4% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 17 | 88 |
| 構成比（%） | 19.3% | 100.0% |

**2．各講義の満足度はいかがでしたか。当てはまるものに○をつけてください。**

**① 日本女子大学　家政学部住居学科　助教・一級建築士　植田　瑞昌　先生/鴨治　慎吾　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 11 | 36 | 17 | 0 | 0 |
| 構成比（%） | 16.9% | 55.4% | 26.2% | 0.0% | 0.0% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 1 | 65 |
| 構成比（%） | 1.5% | 100.0% |

＜理由＞
・障がい者の置かれている現状や私たちが日々の生活の中でできることがよくわかりました。
・お話が聞き取りやすくわかりやすかったです。もっと聞きたかったです。
・１年時に学習したものと重複していたので復習になった。
・バリアフリーについて理解を深めた。
・思った以上に気づかないことや知らないことが多いと気づいた。
・直接障がいのある方の意見を聞けてよかった。（他１件）

**② 東京都行政書士会　板橋支部特定行政書士　葬祭カウンセラー　AFP　勝　桂子　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 12 | 35 | 13 | 3 | 1 |
| 構成比（%） | 18.5% | 53.8% | 20.0% | 4.6% | 1.5% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 1 | 65 |
| 構成比（%） | 1.5% | 100.0% |

＜理由＞
・高齢化社会において現実的な内容であった。　・タイトルと内容が違った。　・葬祭の文化についての話が興味深かった。
・お墓のことは目から鱗の話題。　・葬祭関係の法律が理解できた。　・葬祭をすることの前提の講義であった。
・法律条文というより寺の都合の話になっていた。　・家族と話し合いができた。　・タイトルと内容が違った。

**③ 東京家政大学　女性未来研究所　所長　平野　順子　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 13 | 37 | 10 | 3 | 2 |
| 構成比（%） | 20.0% | 56.9% | 15.4% | 4.6% | 3.1% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 0 | 65 |
| 構成比（%） | 0.0% | 100.0% |

<理由>

・自分は年だからと知ろうとしない避けてきた内容であったが、多様性社会は時代とともに変化してきているのだと思った。
・わかっているようでわかっていないことが知れて良かった。
・昭和世代をすりこまれてきたのでなかなか対応できないことも多い。
・グループ討議などで自分の考え方を整理できた。（他１件）
・画面説明はとてもわかりやすかったがグループ学習が時間的に無理を感じた。
・昨年と同様となり新鮮さに欠けた。
・このテーマで３週はどうかなと思った。

**３．今後、どの分野の講義を受講したいですか。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①芸術 | ②文学 | ③歴史 | ④哲学 | ⑤文化史 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 12 | 9 | 22 | 8 | 11 |
| 構成比（%） | 5.4% | 4% | 10% | 3.6% | 4.9% |

| 選択肢 | ⑥健康 | ⑦社会学 | ⑧法律 | ⑨農業 | ⑩スポーツ科学 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 13 | 15 | 15 | 6 | 4 |
| 構成比（%） | 5.8% | 6.7% | 6.7% | 2.7% | 1.8% |

| 選択肢 | ⑪プログラミング | ⑫外国語 | ⑬絵本 | ⑭観光 | ⑮板橋学 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 6 | 5 | 6 | 10 | 16 |
| 構成比（%） | 2.7% | 2.2% | 2.7% | 4.5% | 7.1% |

| 選択肢 | ⑯福祉 | ⑰心理学 | ⑱建築学 | ⑲地理 | ⑳経済 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 9 | 13 | 4 | 9 | 12 |
| 構成比（%） | 4.0% | 5.8% | 1.8% | 4.0% | 5.4% |

| 選択肢 | ㉑天文学 | ㉒メディア論 | ㉓統計学 | ㉔その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 2 | 7 | 4 | 2 | 4 |
| 構成比（%） | 0.9% | 3.1% | 1.8% | 0.9% | 1.8% |

| 選択肢 | 合計 |
|---|---|
| 回答数 | 224 |
| 構成比（%） | 100.0% |

## ４．板橋グリーンカレッジに関するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

**●講義日程について**

・講義の帰りにふれあい館で一休みしていたため、火曜日（休館日）の講座は残念でした。

・後期の講義概要をもっと早くに作って配布して欲しい。曜日を固定してほしい。

**●講義内容、講師について**

・板橋にかかわることを取り上げてください。

・グループワークがあると講義を受け学んでいる実感がありました。

・時間が限られており、議論する時間がほぼなく途中で打ち切られることもよくあり、内容が深まらなかった。議論が深まり、有意義であったと思える講義がいい。

・政界、経済の激動がある場合、今日それに対応するニュースを発信または考えさせてくれる講座があると良い。

**●その他**

・先生方の専門的な事を学び、知らなかったことを知ることはそれなりに楽しい。

・今回は毎回の講義がとても良くて嬉しく思います。後半も期待しています。

・配信もあると良いと思う。

・大学院コースを受けたいと思うが、自分が勉強したい分野に当たればよいがと思っている。

・資料等はカラー刷りで、顧みる時に状況が鮮明になった。

・幅広く知識を得るとこができました。

・受講希望者が全員受講できることが出来たらいいと思います。

・毎日楽しいです。

・家にいるよりも出掛けているような生活になると良かった。知らないことや時代の流れに遅れている自分を知ることが出来た。

・わからないことが学べるので継続してください。

・タイトルを盛りすぎている。マイクの音量が大きすぎる頭が痛くなる。

・自己を啓発出来て参加してよかった。今後も是非とも継続して下さるようお願いいたします。

# 令和６年度板橋グリーンカレッジ専門課程・健康福祉コース(前期）アンケート集計結果

▼受講者数　104名
▼回答者数　85名　（回収率　81.7% ）
※構成比は、各合計値を100%とした値である。

**1　受講して得られたことについて、当てはまるものに〇をつけてください。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①知識を得ることができた | ②友人ができた・交友関係が広がった | ③生活のリズムや充実感がうまれた | ④地域活動に関心を寄せるようになった | ⑤その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 70 | 11 | 29 | 6 | 0 |
| 構成比（%） | 54.7% | 8.6% | 22.7% | 4.7% | 0.0% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 12 | 128 |
| 構成比（%） | 9.4% | 100.0% |

**2．各講義の満足度はいかがでしたか。当てはまるものに○をつけてください。**

**① 東京都健康長寿医療センター研究所 研究員　横山　友里　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 11 | 54 | 15 | 2 | 0 |
| 構成比（%） | 12.9% | 63.5% | 17.6% | 2.4% | 0.0% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 3 | 85 |
| 構成比（%） | 3.5% | 100.0% |

＜理由＞
・フレイル予防のため普段の食事について一層気を付ける良い機会となった。
・足りない食材等よくわかりました。
・病で食べられない食品の代替品など知らないことをもっと教えてほしい。
・現実的な事象にて満足しました。
・食生活を見直すことができた。
・教養課程と重複していることが多かったので、知識を広げたかった。

**② 板橋区地域リハビリテーションネットワーク　阿部　勉・大沼　剛・矢澤　拓也・羽中田　賢　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 21 | 51 | 9 | 1 | 0 |
| 構成比（%） | 24.7% | 60.0% | 10.6% | 1.2% | 0.0% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 3 | 85 |
| 構成比（%） | 3.5% | 100.0% |

＜理由＞
・筋肉の重要性もわかり実践できたので楽しかった。10の筋トレがよかった。
・阿部先生のお話とても良かったです。
・筋トレもゆるりとできそう。習った体操を家でもやってみようと思う。
・自身の体についての判断をする機会を得られて良かった。自身の体力のなさを知ることができた。（他１件）
・中味が濃くとても参考になった。具体的に動画等活用されてわかりやすかった。

**③ 公認心理師　義本　伸子/テラスタミュージック代表　岡本　和子　先生**

| 選択肢 | ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④やや不満 | ⑤不満 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 29 | 44 | 10 | 1 | 0 |
| 構成比（%） | 34.1% | 51.8% | 11.8% | 1.2% | 0.0% |

| 選択肢 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|
| 回答数 | 1 | 85 |
| 構成比（%） | 1.2% | 100.0% |

＜理由＞

・ストレス発散、音楽もとてもいいです。これから先も参加したいです。
・ストレス緩和について有意義なお話が聞けました。お話が楽しく大きな声で歌うことができて良かったです。
・だれでもあるストレスの内容と解決方法について真剣に取り組んだことがなかったがその機会があり良かった。
・選曲の幅を広げてほしい。
・バイオリンが素敵でした。
・心理療法的なものに興味がわいた。
・体が楽になりました。

**３．今後、どの分野の講義を受講したいですか。（複数回答可）**

| 選択肢 | ①芸術 | ②文学 | ③歴史 | ④哲学 | ⑤文化史 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 22 | 20 | 33 | 8 | 13 |
| 構成比（%） | 7.7% | 7% | 11% | 2.8% | 4.5% |

| 選択肢 | ⑥健康 | ⑦社会学 | ⑧法律 | ⑨農業 | ⑩スポーツ科学 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 28 | 6 | 15 | 8 | 11 |
| 構成比（%） | 9.8% | 2.1% | 5.2% | 2.8% | 3.8% |

| 選択肢 | ⑪プログラミング | ⑫外国語 | ⑬絵本 | ⑭観光 | ⑮板橋学 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 5 | 2 | 6 | 17 | 17 |
| 構成比（%） | 1.7% | 0.7% | 2.1% | 5.9% | 5.9% |

| 選択肢 | ⑯福祉 | ⑰心理学 | ⑱建築学 | ⑲地理 | ⑳経済 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 8 | 18 | 3 | 8 | 15 |
| 構成比（%） | 2.8% | 6.3% | 1.0% | 2.8% | 5.2% |

| 選択肢 | ㉑天文学 | ㉒メディア論 | ㉓統計学 | ㉔その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 7 | 7 | 1 | 3 | 6 |
| 構成比（%） | 2.4% | 2.4% | 0.3% | 1.0% | 2.1% |

| 選択肢 | 合計 |
|---|---|
| 回答数 | 287 |
| 構成比（%） | 100.0% |

## ４．板橋グリーンカレッジに関するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

**●教室環境について**

・３人掛けの席はちょっと狭い。（他３件）

・講師の声が大きすぎてとてもつらいときがある。

**●講義日程について**

・夏の６～７月は通学が過酷。

・午前中の時間帯希望（他１件）

**●講義内容、講師について**

・法律、外国語、板橋の歴史等幅広い分野の講義をお願いします。

・専門課程のコースにもう少しバラエティをもたせてほしい。

・せっかくグループ化しているので、グループでの懇談会を数回実施して欲しかった。（他１件）

・今度は参加型の講座が増えると嬉しいです。

・教養課程の方が充実していると思う。

**●その他**

・とてもためになりました。続けていきたいと思います。

・今回もいろいろ勉強させていただきました。

・全体的に充実したプログラムでした。

・刺激になる講座があり楽しみです。

・貴重な話を聞くことが出来、これからも毎年参加したいと思います。

・先生方も生徒の方も皆さん大変熱心で勉強になることを大変学ばせていただき感謝しています。
これからも期待して頑張っていきたいと思います。

・毎日楽しく受講させていただきありがとうございます。

・年齢に関係なく学べることは良いと思います

・集中力が続かないので途中で休憩タイムがあると助かります。

・毎年テーマが変わっていいと思います。

資料３

# 板橋グリーンカレッジCI・DX推進について

板橋グリーンカレッジ事業は、多世代化に伴い、①カリキュラムの再編成、②CI戦略によるブランド化、③DX推進による環境整備の３つを柱として、「時代に適した学び」の実現に向けて様々な改革を進めている。ついては、CI戦略・DX推進として下記のとおり実施する。

記

## １　オフィシャルロゴの作成

### （１）目的

受講生同士の一体感を高め、事業の機運醸成とブランド力の向上を図るため、オフィシャルロゴと関連アイテムを製作する。令和７年度受講生から配付し、事業に関連する印刷物や広報物にも広く活用する。

### （２）作成アイテム

・屋外サイン：グリーンカレッジホール１階玄関に設置
・指定管理者制服（ベスト）：右写真のとおり
・名札兼学生証：全受講生へ配付
・吊り下げ名札ホルダー：全受講生へ配付
・トートバッグ：全受講生へ配付
・卒業証書
・卒業証書ホルダー
・卒業レポート用紙（令和７年度卒業生から電子化）
・卒業レポート表紙
・講師への委嘱状

指定管理者制服（予定）

### （３）スケジュール

令和６年11月～　各種アイテムの製作
令和７年３月　　納品
令和７年４月　　全受講生へ配付開始

## ２　板橋グリーンカレッジ専用ポータルサイトの導入

### （１）目的

多世代化した受講生のニーズに応えていくため、板橋グリーンカレッジ専用ポータルサイトを導入することで、受講生の利便性向上やデジタルデバイドの解消につなげる。

### （２）スケジュール

令和７年度６月～　システム構築
令和８年度１月～　サイト利用開始

# 板橋グリーンカレッジ
# 専用ポータルサイト

# グリーンカレッジ業務の流れ（現在）

## 区民(受講希望者)

往復はがき

電子申請

申込

## 事務局(生涯学習課)

### 申込処理(抽選)

・申込情報入力
・抽選
・名簿作成
・結果通知
・受講料徴収

### 問合せ対応

・受講キャンセル
・講師への質問
・要望・ご意見

### 情報発信

・お知らせ
・臨時休講

### 受講生管理

・支払状況
・出欠状況
・提出物

依頼・謝礼

## 講師

・講義準備
・講評(一部講師)

講師への質問・回答

講義

## 受講生(受講決定者)

・受講料支払い
・出欠（押印）
・アンケート提出

￥5,000

出

**課題①**

はがき申込の入力作業・名簿の作成に時間がかかる。
結果通知も差し込み印刷したものを郵送で送付するため、手間が多い。

**課題②**

電話での問合せが多いため、担当者不在時に対応できない。
また解釈にズレが生じるトラブルもある。

**課題③**

公開講座などのお知らせはチラシを配布している。
また、悪天候などで臨時休講の場合は、電話をかけて対応している。

**課題④**

紙の受講証に出欠をハンコで押印している。
押し忘れがあると正確な出欠状況を把握できなくなる。
また、アンケートも紙で回答するため、集計に時間がかかる。

# グリーンカレッジ業務の流れ(ポータルサイト導入後)

**改善①**

システム上で3者間（事務局・受講生・講師）に関する事務や連絡が一括でできる。

区民(受講希望者)

申込

事務局

抽選

受講決定

受講料徴収 ￥5,000

権限付与

## GCポータルサイト（クラウドサービス）

### 事務局(生涯学習課・指定管理者)

**受講生管理**
- 出欠状況
- 提出物

**情報発信**
- お知らせ
- 臨時休講
- メール送信

**問合せ対応**
- 受講キャンセル
- 講師への質問
- 要望・ご意見

**New**

**学習フォロー**
- アーカイブ動画配信
- 資料配付

### 受講生マイページ

**受講管理**
- 出欠状況確認
- 履修登録
- 履修科目一覧
- 履修カレンダー

**情報収集**
- お知らせ確認
- 休講情報
- 通知メール受信

**New**

**欠席フォロー**
- アーカイブ動画視聴
- 講師への質問

### 講師

- 資料配付
- 生徒からの質疑応答

**改善②**

受講生にとって必要な最新情報が集約されたマイページがあることで、利便性が向上する。

**改善③**

今まで欠席に対して振替等は行っていなかったが、動画や資料をポータル上で何度でも確認できる。

# 令和７年度　板橋グリーンカレッジ受講生募集について

## １　運営方法

**令和６年度**

| １年生 | ２年生 | 大学院 |
|---|---|---|
| 300人 | 240人<br>（文化文学　80<br>社会生活　80<br>健康福祉　80） | 90人<br>（文化文学　30<br>社会生活　30<br>健康福祉　30） |
| 新規のみ | 進学者優先<br>※聴講生は定員に空きがある場合のみ | 過去に大学校を卒業した方のみ申込可 |

**令和７年度**

| １年生 | ２年生 | 大学院 |
|---|---|---|
| 300人 | 400人<br>（進学者　300<br>聴講生　100） | 90人<br>（文化文学　30<br>社会生活　30<br>健康福祉　30） |
| **卒業生も申込可**<br>**※ただし新規の方優先** | 進学者優先<br>※定員に空きがある場合は聴講生の枠を増やす | 過去に大学校を卒業した方のみ申込可 |

１年生：新カリキュラム（科目選択制）

２年生：従来どおりのカリキュラム（コース選択制）

大学院：従来どおりのカリキュラム（コース選択制）

聴講生：２年生の科目のみ受講可能

※進学者を優先

１年生：新カリキュラム（科目選択制）

２年生：**新カリキュラム（科目選択制）**

大学院：従来どおりのカリキュラム（コース選択制）

聴講生：**１年生及び２年生の科目を受講可能**

※１年生は新規の方、２年生は進学者を優先

## ２　募集について

(1) 令和７年１月18日号の広報いたばしに掲載予定□

(2) 区ホームページ掲載ほか

資料５

# 令和７年度
# 板橋グリーンカレッジ
# 講義概要（前期）

# 令和７年度　板橋グリーンカレッジ大学校１年生　講座一覧（前期）

ね ら い：1年生では、生涯学習を促進する多種多様なテーマについて、幅広く学びます。
会　　場：グリーンカレッジホール（志村3－32－6）3階　教室1

| 講座番号 | 科目 | 日時<br>※Ⓐ・Ⓑは同内容の講義 | テーマ・講義内容 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 歴史 | **Ⓐ５月 16 日(金)**<br>10:00～11:30<br>**Ⓑ５月 16 日(金)**<br>14:00～15:30 | **桂太郎と近代日本**<br>今から百年ほど前に総理大臣を務めた人物として、桂太郎がいます。桂は、対外的には日露戦争や韓国併合を行い、国内的には政党政治を嫌う山県閥の一員ながら議会政党の結成に乗り出します。本講義では、時代の転換期に長期に総理大臣を務めた桂太郎に焦点をあてることで、同時代の日本の特質を考えてみたいと思います。 | 学習院大学<br>文学部史学科<br>教授<br>千葉（ちば）　功（いさお） |
| 2 | 絵本 | **Ⓐ５月 26 日(月)**<br>10:00～11:30<br>**Ⓑ５月 26 日(月)**<br>14:00～15:30 | **平成の絵本文化を振り返る**<br>日本の絵本文化は戦後に大きく発展しました。昭和後期には『ぐりとぐら』（中川李枝子作、大村百合子絵、福音館書店，1963）など、現在も読み継がれる絵本が次々と出版されていきました。本講座では、昭和の絵本を読んで育った世代が作った平成期の日本の絵本と、平成期に始まった「ブックスタート」等の文化活動を振り返ります。 | 日本女子大学<br>家政学部児童学科<br>准教授<br>今田（いまだ）　由香（ゆか） |
| 3 | 観光学 | **Ⓐ６月２日(月)**<br>14:00～15:30<br>**Ⓑ６月９日(月)**<br>14:00～15:30 | **ICT（情報コミュニケーション技術）は旅にどんな革命をもたらしてきたか？**<br>見知らぬ土地に出かける旅は必然的に情報が鍵となります。本講義では観光情報学という新学問のトピック五題をご紹介し、情報化社会における旅の未来について考えます。①OTA（オンライン旅行会社）の台頭と旅行代理店の没落、②AR（拡張現実）による遺跡の仮装復元、③電子スタンプラリーの功罪、④オンラインツアー、⑤SNS を介した珍観光の発掘 | 東京都立大学<br>都市環境学部<br>観光科学科<br>准教授<br>倉田（くらた）　陽平（ようへい） |
| 4 | 文章論 | **Ⓐ６月３日(火)**<br>10:00～11:30<br>**Ⓑ６月３日(火)**<br>14:00～15:30 | **文章の書き方入門――「伝える」を意識してみよう**<br>長い文章を書くにはいくつかのコツがあります。タイトルのつけ方、目次の立て方、参考文献の引用方法まで、いろいろと細かい注意点があります。でも一番大切なのは、読み手に「伝える」ということを意識して書くことです。この講座では、わかりやすい文章を書くための具体的なテクニックをお伝えします。 | 跡見学園女子大学<br>観光コミュニティ学部<br>准教授<br>小関（おぜき）　孝子（たかこ） |

| 講座番号 | 科目 | 日時<br>※Ⓐ・Ⓑは同内容の講義 | テーマ・講義内容 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 健康 | **Ⓐ 6月 13 日(金)**<br>14:00～15:30<br><br>**Ⓑ 6月 27 日(金)**<br>14:00～15:30 | **急変前徴候を見逃さないために**<br><br>生命の危機的状況にあり、集中的な治療を要する重症患者への医療・看護のことを「集中ケア」といいます。みなさんが「何か調子が悪いな、このくらいで病院に行くのは変かな」と考えている間に容体が悪化してしまうことがあります。容体が悪化する前には必ず徴候があるため、その際の適切な行動と併せてもしもの時に備えましょう。 | 豊島病院<br>集中ケア認定看護師<br><br>柳山（やなぎやま） 由佳（ゆか） |
| 6 | 文化史 | **Ⓐ 6月 16 日(月)**<br>14:00～15:30<br><br>**Ⓑ 6月 26 日(木)**<br>14:00～15:30 | **都市から農山村への移住を考える**<br>**――「田舎暮らし」から「地方移住」まで**<br><br>私たちは人生の中でたびたび地域移動（転居／引っ越し）を経験しますが、都市での暮らしを農山村へ移すことは、移動者本人と移動先の地域社会に、どのような影響を与えるのでしょうか。1960 年代の学生運動の流れをくむ「田舎暮らし」から、現代の「地方移住」までの変遷をたどり、「生きること」と「移住すること」がいかに結びついてきたのかを考えます。 | 大正大学<br>人間学部人間科学科<br>専任講師<br><br>畑山（はたやま） 直子（なおこ） |
| 7 | 芸術 | **Ⓐ 6月 19 日(木)**<br>10:00～11:30<br><br>**Ⓑ 6月 19 日(木)**<br>14:00～15:30 | **化け物は進化する？　寺田寅彦に学ぶ日本の妖怪**<br><br>板橋区ゆかりの物理学者・寺田寅彦は、化け物が大好きでした。彼の随筆「化け物の進化」では、「人間文化の進歩の道程において発明され創作されたいろいろの作品の中でも「化け物」は最もすぐれた傑作」だと述べられています。それは一体どういうことなのでしょうか。随筆を出発点として一緒に考えていきましょう。 | 法政大学<br>理工学部創生科学科<br>教授<br><br>横山（よこやま） 泰子（やすこ） |
| 8 | 法律 | **Ⓐ 7月 2 日(水)**<br>14:00～15:30<br><br>**Ⓑ 7月 16 日(水)**<br>14:00～15:30 | **裁判員制度を通じて学ぶ刑事法入門**<br><br>18 歳以上の国民であれば、刑事裁判に皆さんも裁判員としてかかわる機会があるかもしれません。ですが、実際の流れや刑事法とはどういうものか知っている人は多くはないでしょう。本講では、いざというときのためにも、刑事法の全体像を概観し、刑事法の原則や裁判員裁判の流れなどを見ていきたいと思います。 | 専修大学<br>法学部　教授<br><br>岡田（おかだ） 好史（よしふみ） |

| 講座番号 | 科目 | 日時<br>※Ⓐ･Ⓑは同内容の講義 | テーマ･講義内容 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| **9** | **経済学** | **Ⓐ７月４日(金)**<br>14:00～15:30<br><br>**Ⓑ７月７日(月)**<br>14:00～15:30 | **はじめての経済学**<br>**-「神の見えざる手」の正体を解明せよ-**<br><br>経済学ではみんなが幸せになれる社会のしくみについて考えます。だから、経済学を学べば「世の中を見る目」が養われます。この講義では、経済学の基本となる市場の「神の見えざる手」の正体に迫ります。経済学の視点から一緒に世の中を眺めてみましょう。これまでより世界がちょっとだけ色づいて見えるはずです。 | 大東文化大学<br>経済学部<br>現代経済学科<br>講師<br><br>岡田（おかだ） 知久（ともひさ） |
| **10** | **統計学** | **Ⓐ７月９日(水)**<br>14:00～15:30<br><br>**Ⓑ７月 18 日(金)**<br>10:00～11:30 | **データサイエンス入門**<br>**～生成 AI 時代に活躍できる人材へ～**<br><br>本格的な生成 AI 時代に突入し、データサイエンス･AI の利活用スキルはあらゆる社会人に必須のスキルとなりました。本講座においては、社会において必要なリテラシーやデータによる世の中の変化について学び、データの読み解きスキルを習得します。 | 株式会社 Rejoui<br>取締役<br><br>見並（みなみ） まり江（え） |
| **11** | **メディア論** | **Ⓐ７月 19 日(土)**<br>10:00～11:30<br><br>**Ⓑ７月 19 日(土)**<br>14:00～15:30 | **人気雑誌から見る漫画表現の変遷**<br><br>漫画は、小説とも映画とも違う、独自の表現形式をもったメディアです。この講義では 1950 年代、60 年代、70 年代、80 年代、90 年代と、各年代の人気雑誌に掲載されている漫画作品を見ながら、絵と言葉とコマを組み合わせる表現技法がどのように発展し、作品の題材がどのように多様化してきたのかを見ていきます。 | 明治大学<br>国際日本学部<br>教授<br><br>宮本（みやもと） 大人（ひろひと） |

## ≪後期について≫

後期は、10 月～２月の間に 12 講座を実施する予定です。12 講座の中から９講座お選びいただき、履修届をご提出いただきます。

**・後期の科目（予定）**

文学、音楽、哲学、板橋学、福祉、心理学、建築学、地理、社会、天文学、プログラミング、科学など

# 令和７年度　板橋グリーンカレッジ大学校２年生　講座一覧（前期）

ねらい：2年生では、生涯学習を促進する多種多様なテーマについて、より専門的な内容を学び、教養を深めます。

会　場：グリーンカレッジホール（志村3－32－6）3階　教室1

| 講座番号 | 科目 | 日時 | テーマ・講義内容 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 文学 | **4月27日(日)**<br>14:00～15:30<br>**4月29日(火)**<br>14:00～15:30<br>**5月13日(火)**<br>14:00～15:30 | **『源氏物語』の女性たち**<br><br>昨年度は1年生の講座で、『源氏物語』正編の概要をお話ししました。引き続き本年度2年生では、続編の概要と最後のヒロイン浮舟の物語を学習し、『源氏物語』の全体像を大まかに把握した上で、登場人物の中で人気の高い、夕顔と六条御息所にスポットを当て、その魅力を味わいます。<br><br>●4月27日：続編の概要と浮舟の物語<br>●4月29日：夕顔―若き日の光源氏の儚い恋人―<br>●5月13日：六条御息所―懊悩する愛の敗北者― | 立教大学<br>日本学研究所<br>研究員<br><br>馬場（ばば）　淳子（じゅんこ） |
| 2 | 哲学 | **5月9日(金)**<br>10:00～11:30<br>**5月23日(金)**<br>10:00～11:30<br>**6月6日(金)**<br>10:00～11:30 | **「人間とは何か？」を問う西洋哲学**<br>**～自己・生・そして実存～**<br>哲学は疑問と問いかけから始まります。今回は「人間とは何か？」という大きなテーマのもとで、西洋哲学の知の森を探求していきます。混迷の時代を生きる私たちにとって、哲学者たちのコトバは心に響いてきます。「自己」への思いから、「社会」を見つめ、“ここにいる”という「実存」にいきつくまでを考察しましょう！さあ、西洋哲学をめぐって、知の散策へ！<br>●5月9日：フランス哲学の知の基層を探る<br>～デカルトとパスカルの地平・「私」とは？～<br>●5月23日：人間における「自由と平等」を考える<br>～J.=J.ルソーの言説：「人間よ、人間的であれ」とは？～<br>●6月6日：「今ここに生きること」・実存哲学の系譜をたどる<br>～キルケゴールからサルトルまで・「実存」とは？～ | 武蔵野大学<br>名誉教授<br><br>久富（ひさとみ）　健（けん） |
| 3 | 歴史 | **5月10日(土)**<br>10:00～11:30<br>**5月20日(火)**<br>10:00～11:30<br>**5月27日(火)**<br>10:00～11:30 | **足利義政の時代**<br><br>応仁・文明の乱発生時の将軍足利義政について、文化面で評価される反面、その政治については批判的な評価ばかりされてきました。ところが、近年の研究により、義政の政治やその時代について、さまざまなことが知られるようになっています。そこで、この講義で改めて義政や大乱にいたる様相を深掘りしたいと思います。<br><br>●5月10日：足利義政の登場と管領政治の時代<br>●5月20日：足利義政の政治と大名たち<br>●5月27日：応仁・文明の乱と足利義政 | 大正大学<br>文学部歴史学科<br>准教授<br><br>木下（きのした）　昌規（まさき） |

| 講座番号 | 科目 | 日時 | テーマ・講義内容 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 法律 | **6月5日(木)**<br>14:00～15:30<br>**6月 12 日(木)**<br>14:00～15:30<br>**6月 18 日(水)**<br>14:00～15:30 | **『民法』研究　～市民社会の基本ルールを深堀り～**<br><br>よく口にする「所有権」ってどんな権利？契約はいつから成立する？『民法』は、私達の日常生活における一般的ルールを定めた、最も身近な法律です。本講義では、民法を学んで、現実に起こりうるトラブルを解決する能力を養い、その適用結果（条文・判例）を理解して、実生活上の行動指針を得ることを目指します。<br><br>●6月5日：民法の全体像と民法総則（法律行為・時効など）<br>●6月12日：物権法（所有権、抵当権など）と<br>債権総論（債権の効力・消滅など）<br>●6月18日：債権各論（契約の成立、解除、各種契約など） | 東京都行政書士会<br>板橋支部 副支部長<br>行政書士<br><br>齊藤（さいとう）　志郎（しろう） |
| 5 | 心理学 | **6月 10 日(火)**<br>10:00～11:30<br>**6月 17 日(火)**<br>10:00～11:30<br>**6月 24 日(火)**<br>10:00～11:30 | **こころの健康作りのために私達ができること**<br><br>ストレス等によってメンタル面を崩すとどうなるのか、どう対応するかを地域全体で知るのは大切な事です。二回目では心身の整え方を体験的に学びます。最終回では自分の人生シーンに応じて、地域で自分らしく生きる方法について実例を交え話します。地域活動家でありメンタルケアに携わる三人から学ぶ実践的講座です。<br><br>●6月10日：知っておきたいメンタルヘルスの基礎知識<br>●6月17日：心身のバランスを整えるための知恵と実技<br>●6月24日：自分の人生をデザインして地域で生きる | 【6月10日】<br>公認心理師<br>義本（よしもと）　伸子（のぶこ）/<br><br>【6月17日】<br>高島平ウィメンズ<br>ヘルス研究所<br>石田（いしだ）　ゆかり/<br><br>【6月24日】<br>キャリア<br>コンサルタント<br>矢野（やの）　由加（ゆか） |
| 6 | 地理 | **6月 14 日(土)**<br>14:00～15:30<br>**6月 21 日(土)**<br>14:00～15:30<br>**6月 28 日(土)**<br>14:00～15:30 | **東京・武蔵野台地の地形と都市景観**<br><br>江戸・東京の街は武蔵野台地の東端部と荒川流域の低地に立地しており、その都市構造も地形に大きく関わっています。そして現代の東京の都市景観にもその地形は少なからず関連しています。東京の地形的な特色と、そこに成立した都市、都市景観を見ていきます。<br><br>●6月14日：板橋区の地形と街並み景観の特色について<br>●6月21日：江戸・東京の都市形成と東京の地形について<br>●6月28日：現代の東京の都市景観と地形の関連とは？ | 早稲田大学<br>オープンカレッジ<br>講師<br><br>松本（まつもと）　泰生（やすお） |

| 講座番号 | 科目 | 日時 | テーマ･講義内容 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 経済 | **7月 17 日(木)**<br>14:00～15:30<br>**7月 24 日(木)**<br>14:00～15:30<br>**7月 31 日(木)**<br>14:00～15:30 | **自分に合った資産運用を始めるための応用知識**<br><br>この講座は、一年生の続編です。資産運用の概要を理解したうえで、これから資産運用に取り組んで行こうとする方のための、前回講座を深掘りした内容です。政府の制度、経済･金融市場のしくみ、運用商品の3つの面から、系統立てて学んで行きます。資産運用について、自ら考え、自ら判断するための基礎知識を習得しましょう。<br><br>●7月17日：税制優遇制度と自分に合った利用方法とは<br>●7月24日：経済･金融市場を読み解くための基本<br>●7月31日：資産運用の基本的な考え方と運用商品選び | NPO 法人金融と証券を学習する会<br>証券カウンセラー<br><br>【7月17日】<br>今津（いまづ） 多佳子（たかこ）/<br><br>【7月24日】<br>添田（そえだ） 守輝（もりき）/<br><br>【7月31日】<br>馬島（まじま） 由香（ゆか） |
| 8 | プログラミング | **7月 25 日(金)**<br>10:00～11:30<br>**8月1日(金)**<br>10:00～11:30<br>**8月8日(金)**<br>10:00～11:30 | **生成 AI を活用したプログラミング入門**<br><br>Scratch 及び Python 言語のプログラミングを、実習を中心に学びます。また実習では、生成 AI によるプログラミングや、生成 AI をプログラミング学習に役立てる方法について実践的に学びます。<br>●7月25日：1年生の内容の復習（圧縮版）＋<br>プログラミング実習に備える内容（講義）<br>●8月1日：Scratch と比較しながら Python 言語を学ぶ（実習）<br>●8月8日：生成AIを使って Python プログラミングを学ぶ（実習）<br><br>**※この講座では、Web ブラウザが使えて、文字入力ができるパソコンまたはタブレットが必要です。実習の際に、必ず各自でご持参ください。** | NPO 法人<br>プログラミング教育研究所<br>理事長<br><br>伊藤（いとう） 功一（こういち） |
| 9 | スポーツ | **7月 28 日(月)**<br>10:00～11:30<br>**8月4日(月)**<br>10:00～11:30<br>**8月7日(木)**<br>10:00～11:30 | **スポーツの動作を科学する（発展編）**<br><br>優れたスポーツ動作には、共通する基本原理（メカニズム）があります。本講義では、スポーツにおける基本動作（走る、跳ぶ、投げる、打つ、蹴る）を上手に行う上での要点について、科学的に理解を深めたいと思います。<br><br>●7月28日：速く走る･遠くへ跳ぶ<br>●8月4日：速いボールを投げる･変化球の正体<br>●8月7日：上手に打つ･蹴る | 大東文化大学<br>スポーツ･健康科学部<br>教授<br><br>川本（かわもと） 竜史（りゅうじ） |

**«後期について»**

後期は、９月～２月の間に９講座を実施する予定です。９講座の中から３講座お選びいただき、履修届をご提出いただきます。詳細は、７月頃にお知らせいたします。

**・後期の科目（予定）**

芸術、絵本、板橋学、健康、福祉、生活史、農業、天文学、統計学など

# 令和７年度 板橋グリーンカレッジ大学院

# 文化文学コース 年間予定表

１ テーマ：

**「 遺跡から日本の古代をさぐる 」**

現在、日本のどこを旅しても原始・古代の遺跡があり、各地で個性豊かな文化が栄えていたことが知られます。文化財を展示した博物館・資料館も設置され、youtube にも動画が紹介されているので、さまざまな手段で学ぶことができます。そこでこのゼミナールでは、考古学の研究方法にしたがい、遺跡と遺物から日本の各地で栄えた古代文化について調べてみたいと思います。

２ 日 時： 原則として、各回 水曜日 10時から11時30分 まで

※最終回 10 時から 12 時まで

３ 場 所： グリーンカレッジホール（志村3－32－6）3階 教室2 ほか

４ 講 師： 大正大学 文学部 歴史学科 教授 塚田（つかだ） 良道（よしみち） 先生

５ 日程・内容

| | | |
|---|---|---|
| ① **5月14日** | オリエンテーション | **オリエンテーション**<br>全体の説明／受講者全員の自己紹介／アンケート調査 |
| ② **5月21日** | フィールドワーク | **見学先：東京国立博物館と上野公園**<br>博物館と公園内の遺跡を歩き、考古学の研究方法を学びます。 |
| ③ **6月11日** | 講義① | **講義テーマ：列島の古代文化①**<br>アンケートを踏まえ、旧石器～奈良時代までの研究テーマを３回講義します。 |
| ④ **6月25日** | 講義② | **講義テーマ：列島の古代文化②**<br>〃 |
| ⑤ **7月 2日** | 講義③ | **講義テーマ：列島の古代文化③**<br>〃 |
| ⑥ **7月16日** | 講義④ | **講義テーマ：研究課題の設定**<br>各自の研究課題とグループを決め、夏休みの調査についてアドバイスします。 |
| ⑦ **9月17日** | 研究・学習① | **研究指導：研究のまとめ方**<br>夏休みの調査を踏まえて、研究テーマのまとめ方についてアドバイスします。 |
| ⑧ **10月15日** | 研究・学習② | **グループ研究の中間報告会①**<br>グループごとに、これまでの調査成果の中間報告をしてもらいます。 |
| ⑨ **10月29日** | 研究・学習③ | **グループ研究の中間報告会②**<br>〃 |
| ⑩ **11月12日** | 研究・学習④ | **グループ研究の中間報告会③**<br>〃 |
| ⑪ **11月26日** | フィールドワーク | **見学先：都内博物館（検討中）**<br>中間報告会の結果を踏まえて、この日に研究発表会のレジュメを提出。 |
| ⑫ **12月17日** | リハーサル | **卒業研究発表会の練習**<br>卒業研究発表会のリハーサルと補足講義 |
| ⑬ **1月14日** | 卒業研究発表会 | **卒業研究発表会**<br>グループごとの成果発表と講師による講評・卒業レポート提出 |

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

# 令和７年度 板橋グリーンカレッジ大学院

# 社会生活コース 年間予定表

１ テーマ：

**「わが国の食を取り巻く環境」**

わが国の食料自給率は、38％と低い状態にあります。一方、地球規模で見る食料供給は、人口増加、気候変動、感染症の拡大、国際情勢の不安定化、食品ロスなど大きな課題を抱えています。食料を輸入に依存するわが国では、円安も影響して食料価格が高騰しています。わが国にとって食を取り巻く環境は厳しいものがあります。私たちは真剣に持続可能な食を考える必要があります。

２ 日 時： 原則として、各回 月曜日 10時から11時30分 まで

※最終回 10 時から 12 時まで

３ 場 所： グリーンカレッジホール（志村3－32－6）3階 教室2 ほか

４ 講 師： 東洋大学 名誉教授 大熊（おおくま） 廣一（ひろかず） 先生

５ 日程・内容

| | | |
|---|---|---|
| ① 5月12日 | オリエンテーション | **オリエンテーション**<br>全体の説明／受講者全員の自己紹介 |
| ② 5月26日 | 講義① | **講義テーマ：いのちの食べかたを考えよう**<br>生きものが食べもの変わる |
| ③ 6月 9日 | 講義② | **講義テーマ：世界の食料事情を考えよう**<br>世界の食料需給に影響をあたえる要因 |
| ④ 6月23日 | 講義③ | **講義テーマ：日本の食料事情を考えよう**<br>わが国の食料自給率 38％ |
| ⑤ 7月14日 | 講義④ | **講義テーマ：フードロスと新しい食料生産技術を考えよう**<br>食品廃棄とタンパク質危機 |
| ⑥ 7月28日 | 講義⑤ | **講義テーマ：食料供給を持続可能にするための課題を考えよう**<br>各自行いたいことを発表しグループ決めを行う（個人研究も可） |
| ⑦ 9月 8日 | 研究・学習① | **個人研究・グループ研究**<br>グループ（個人）毎に研究テーマを発表/今後のスケジュール確認 |
| ⑧ 10月 6日 | 研究・学習② | **個人研究・グループ研究**<br>研究の進捗状況をグループ（個人）毎に発表、問題点等の洗い出し |
| ⑨ 10月27日 | 研究・学習③ | **個人研究・グループ研究**<br>研究の進捗状況をグループ（個人）毎に発表、卒業レポートの書き方の確認 |
| ⑩ 11月17日 | 研究・学習④ | **個人研究・グループ研究**<br>発表会レジメ下原稿の検討、相互に意見交換 |
| ⑪ 12月15日 | 研究・学習⑤ | **個人研究・グループ研究**<br>発表会レジュメ提出 |
| ⑫ 1月19日 | リハーサル | **卒業研究発表会の練習**<br>卒業研究発表会のリハーサルと補足講義 |
| ⑬ 1月26日 | 卒業研究発表会 | **「卒業研究発表会」**<br>グループごとの成果発表と講師による講評・卒業レポート提出 |

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

# 令和７年度 板橋グリーンカレッジ大学院

# 健康福祉コース 年間予定表

１ テーマ：

**「 生涯発達心理学から考える人生 100 年時代 」**

現代は、人生100年時代と言われ、生まれてから亡くなるまで、非常に長い生涯を歩む時代になっています。本テーマでは、人は、獲得（成長）と喪失（衰退）を混在させながら発達的な変化をし続けていくという「生涯発達」について、心理学的な視点にもとづきながら紹介していきます。具体的には、生涯発達をいくつかの時期に区分し、それぞれの時期の心理的特徴、他者と関わりながら認知や思考といった心の機能をどのように育み、適応していくかについて取りあげていきます。

２ 日 時：　原則として、各回 金曜日 10時から11時30分 まで
※最終回 10 時から 12 時まで

３ 場 所：　グリーンカレッジホール（志村3－32－6）3階 教室2 ほか

４ 講 師：　淑徳大学人文学部人間科学科 助教 田中（たなか） 元基（もとき） 先生

５ 日程・内容

| | | |
|---|---|---|
| ① 5月 9日 | オリエンテーション | **オリエンテーション**<br>全体の説明／受講者全員の自己紹介 |
| ② 5月 23日 | 講義① | **講義テーマ：「生涯発達」という考え方の概要** |
| ③ 6月 6日 | 講義② | **講義テーマ：乳児期から児童期までの心理的発達の特徴と関わり方** |
| ④ 6月 20日 | 講義③ | **講義テーマ：青年期から成人期までの心理的発達の特徴と関わり方** |
| ⑤ 7月 4日 | 講義④ | **講義テーマ：壮年期から高齢期までの心理的発達の特徴と関わり方** |
| ⑥ 7月 18日 | 講義⑤ | **講義テーマ：「生涯発達」という考え方まとめと重要性**<br>グループ決め（個人研究も可） |
| ⑦ 9月 12日 | 研究・学習① | **個人研究・グループ研究** |
| ⑧ 9月 26日 | 研究・学習② | **個人研究・グループ研究** |
| ⑨ 10月 10日 | 研究・学習③ | **個人研究・グループ研究** |
| ⑩ 11月 14日 | 研究・学習④ | **個人研究・グループ研究** |
| ⑪ 12月 19日 | 研究・学習⑤ | **個人研究・グループ研究**<br>発表会レジュメ提出 |
| ⑫ 1月 16日 | リハーサル | **卒業研究発表会の練習**<br>卒業研究発表会のリハーサルと補足講義 |
| ⑬ 1月 30日 | 卒業研究発表会 | **「卒業研究発表会」**<br>グループごとの成果発表と講師による講評・卒業レポート提出 |

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

資料６

# 新たな板橋グリーンカレッジ大学院のカリキュラム案について

板橋グリーンカレッジ大学院の新カリキュラムについて、現カリキュラムにおける課題を踏まえ、以下のとおり提案する。

記

## １　現行のカリキュラム　　【参考資料　移行スケジュール　参照】

高齢者大学校の流れを受け、「文化文学」「社会生活」「健康福祉」の３コースを設置し、各30名を定員として運営をしている。年間13回の授業の中で、大学校よりさらに専門的な知識の習得を図るため、ゼミナール形式を導入した授業を行っている。また、グループまたは個人での研究活動、施設見学等のフィールドワークを行い、最終回には研究内容の成果を発表する。

## ２　大学院の課題

（１）構成員

大学院既修了者によるリピーターが多数占めており大学校卒業者からの進学割合が低い。

→魅力あるカリキュラムを提案し、新規進学者の増加が求められる。

（２）高齢者向けのコース内容

令和６年度の大学校新入生から多世代化を実現した。大学院は、移行期間として高齢者向けの旧カリキュラムで運営している。

→今後は多世代向けのカリキュラムが求められる。

（３）大学院修了後に、学びの循環に結び付いていない

→大学院修了者が１年間で学んだ内容を、対外的に活かしていくための受講生への意識付けが求められる。

## ３　新カリキュラム（案）　【別紙　新たな板橋グリーンカレッジのカリキュラム案】

課題を踏まえて、下記のとおりカリキュラムの見直しを行う。

（１）定員の見直し

定員を30名から25名へ変更し、講師が受講生一人ひとりに寄り添ったきめ細かな対応をしやすくする。

（２）コースの増設

大学校の科目を増やしたことに伴い、コースも３から４コースへ増設する。また、分野を固定せず、大学校の科目にあわせてコース内容を毎年編成する。

（３）学習内容の見直し

意見交換や発表会などの時間を増やし、学習の成果を発信する機会を設けることで講義の理解を深める。また、受講生自身で、大学院で学んだ研究内容の活用について考える時間を設ける。

参考資料

# 新たな板橋グリーンカレッジの移行スケジュール（予定）

## 令和５年度まで

**大学校（１年目）**
**※定員160名**
仲間づくりや地域活動、生涯学習を促進する多様なテーマについて幅広く学ぶ
２コース（午前・午後）

**専門課程（２年目）**
**※定員240名**
より専門的な知識の習得を図るために専門分野を選択し、教養を深める
３コース（文化文学・社会生活・健康福祉）

**大学院（３年目）**
**※定員90名**
ゼミ形式で、より能動的な学びへ挑戦する
３コース（文化文学・社会生活・健康福祉）

進学

進学

## 令和６年度

**大学校（１年目）** 新
**※定員300名**
幅広いテーマの講座を提供し、受講生自ら受けたい講座のみを選択する
＜例＞
板橋学、社会学、文学、歴史、天文学、美術、経済、心理学、政治、福祉、哲学、情報など

**専門課程（２年目）**
**※定員360名**
令和５年度教養課程からの進学者がいるため、従来の専門課程を実施

**大学院（３年目）**
**※定員90名**
令和５年度専門課程の卒業者がいるため、従来の大学院を実施

進学

## 令和７年度

**大学校（１年目）** 新
**※定員300名**
新体制のカリキュラムを実施

**大学校（２年目）** 新
**※定員400名**
１年目の科目について、より専門的な内容の講座を提供する。受講生は１年目同様に、自身で時間割を組む。

**大学院（３年目）**
**※定員90名**
令和６年度専門課程の卒業者がいるため、従来の大学院を実施

## 令和８年度以降

**大学校（１年目）** 新
**※定員300名**
新体制のカリキュラムを実施

**大学校（２年目）** 新
**※定員400名**
新体制のカリキュラムを実施

**大学院（３年目）** 新
**※定員100名**
既存の３コースに加え、１コース新設する。定員を少人数に絞り、個人研究中心としたカリキュラムとする。

別紙

# 新たな板橋グリーンカレッジ大学院のカリキュラム案

## 令和７年度まで

**・定員　30名×３コース　90名**

**・３コース（文化文学・社会生活・健康福祉）**

| 回 | 実施形態 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 全体の説明／受講者全員の自己紹介 |
| 2～６ | 講義①～⑤ | 講師による講義 |
| 7 | 研究テーマ決め | グループ決め |
| 8 | グループ学習① | テーマ・役割分担の決定 |
| 9 | グループ学習② | 情報共有・意見交換 |
| 10 | グループ学習③ | 情報共有・意見交換 |
| 11 | グループ学習④ | 発表会レジュメ提出／発表内容の準備 |
| 12 | リハーサル | 発表会のリハーサルと補足講義 |
| 13 | 卒業研究発表会 | 発表と講師による講評／レポート提出 |

## 令和８年度以降

**・定員　25名×4コース　100名**

**・４コース（A・B・C・D）**

| 回 | 実施形態 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 全体の説明／受講者全員の自己紹介 |
| 2～６ | 講義①～⑤ | 講師による講義／**意見交換・課題整理** |
| 7 | 研究テーマ決め | 研究テーマ決め |
| 8 | 研究・学習① | 情報共有、進捗状況の確認 |
| 9 | 研究・学習② | **中間発表** |
| 10 | 研究・学習③ | **研究内容の活用の場についての討議**／発表会レジュメ提出 |
| 11 | リハーサル | 発表会のリハーサルと補足講義 |
| 12 | **卒業研究発表会①** | **発表と講師による講評**／レポート提出 |
| 13 | **卒業研究発表会②** | **発表と講師による講評**／レポート提出 |

## 【カリキュラムの変更点】

**①定員の見直し**

定員を30名から25名へ変更する。

**②コースの増設**

３コースから４コースに増設する。コースも分野を固定せず、大学校で学ぶ科目に合わせてコース内容を編成する。

**③学習内容の見直し**

講義を受け身で聞くのみでなく、全体で意見交換の時間や、発表会の時間を増やす。学習の成果を発信する機会を設けることで、講義への理解を深める。

また、受講生ご自身で学習内容を対外的に活用できる方法を考える時間を設ける。最終回までに研究内容の活用方法をまとめ、発表する。